【授業科目】老年看護学概論　　Introduction to Gerontological Nursing

担　当　教　員	開講年次	選択必修	単位数	時間数	授業形態	実務経験	オフィスアワー	教職員への授業公開
三好 陽子	２年次 前　期	必　修	1	１５	講　義	あり	巻末掲載	可

授業概要（内容と進め方）及び課題に対するﾌｨｰﾄﾞﾊﾞｯｸ方法	授業概要／加齢による身体、精神、心理・社会的な特徴とそれに伴う生活の変化など、老年期にある人々について理解を深められるよう学習を進める。また、高齢者の介護の現状についても学習し、高齢者を取り巻く社会環境などを含め幅広く高齢者をとらえ、老年看護の役割を考える機会を提供する。ここでの形式は講義を主とする。講義時はプリントを配布し、教科書と共に使用する。 課題に対するフィードバック方法／提出されたレポートにコメントをつけて返却する。
実務経験に関する授業内容	看護師の臨床経験をもつ教員が、看護師として必要な老年看護学の知識について、老年看護学の資料・教材を交えながら指導していく科目である。
授業の位置づけ	本学のディプロマ・ポリシー③「専門的知識・技術に基づき、地域に暮らすあらゆる健康レベルの人々にそれぞれ必要とされる看護を実践することができる。」の達成に寄与している。
到達目標（履修者が到達すべき目標）	①加齢による身体、精神、心理・社会的特徴とそれに伴う生活の変化がわかる。 ②ライフプロセスにおける高齢者の健康課題がわかる。 ③自身の高齢者像をイメージし、生活出来事体験をすることにより、高齢者に対する理解を深めることができる。 ④高齢者社会の現状をふまえ、老年看護の特徴と役割について考えることができる。 ⑤高齢者の生きてきた時代背景をスライドによって知ることにより、高齢者の理解を深めることができる。
時間外学習に必要な内容・時間	第1～8回 事前学習：教科書の該当部分を事前に読み、自身の祖父母・曾祖父母への思いや高齢者に関する新聞記事やニュース等から高齢者の置かれている立場や社会の状況について自身の考えを整理しておく（各３０分）。 第1～8回 事後学習：講義後は配布資料・教科書の該当部分を振り返って学びを整理し、疑問点は自ら調べたうえで 教員に質問する。事後学習課題を次回の講義までに実施し、発表できるように準備しておく（各３０分）。 ※上記時間については、指定された学習課題に要する標準的な時間を記載してあります。日々の自学自習全体としては、各授業に応じた時間（２単位１５回科目の場合：予習+復習４時間／１回）（１単位１５回科目の場合：予習+復習１時間／１回）（１単位８回科目の場合：予習+復習４時間／１回）を取るよう努めてください。詳しくは教員の指導に従ってください。
授業計画	第１回　：老年看護学の考え方 第２回　：老いるとは？　ライフプロセスにおける老年期の特徴と課題 （高齢者の定義、高齢化、老化学説、発達課題、高齢社会の現状、生活史・ライフレビュー、自身の高齢者像に関するレポート課題） 第３回　：高齢者の加齢による特徴：身体 （高齢者の身体的特徴、老化による身体の変化） 第４回　：高齢者の加齢による特徴：心理・社会・精神機能 （加齢による社会的変化・心理的変化・精神機能の変化、知的能力の変化） 第５回　：高齢者の健康の特徴 （自覚症状、受療状況、死因の動向、高齢化と保健・医療・福祉の動向） 第６回　：高齢者の家族と課題 （家族構成・経済状況、介護問題、ソーシャルサポートシステム） ※第２回に提示したレポート課題提出（講義終了後） 第７回　：高齢者の人権と法制度 （高齢者の人権・倫理的問題と法整備） 第８回　：高齢者の時代背景を知る・まとめ
	全て 三好
評価方法 評価基準	課題レポート 20%、定期試験 80%
教科書	北川公子・荒木亜紀・井出訓・他『系統看護学講座-専門分野老年看護学』医学書院
参考書等	講義の中で適宜紹介します。
学生への助言等	高齢者に関心を持つことが、老年看護学の学習の始まりです。高齢者について一緒に理解を深めていきたいと思います。講義中の携帯電話の使用・私語は禁止します。学習環境を整えましょう。